

# 千歳市市民協働推進会議議事録

会議名	市民協働推進会議（第8期 第16回）		
日時	令和5年2月20日（月） 18:00～19:00	場所	市役所 第2庁舎2階 5・6会議室
出席者	委員：11人 事務局：2人（政策推進課長、市民協働推進係）		

議題	(1)ひと・まちづくり助成事業実施後意見交換 (2)学生向けの支援制度
決定事項	なし

委員 事業申請者 実施担当課 事務局 附帯意見

会議要旨	
(1)ひと・まちづくり助成事業実施後意見交換	<p>【事業名】千歳音頭の周知浸透を図る活動</p> <p>&lt;質疑応答&gt;</p> <p>納涼盆踊り大会の櫓の回りを踊っていたのを拝見した。また北信町内会のまつりでも踊りを披露していただきありがたいと思っている。この活動は継続することが大切なので、引き続きいろいろな場所に向いて市民の方に踊りを披露していただきたい。制作物としてDVDを100枚作製しているが、どのように活用したのか。</p> <p>作製したDVDについては、講習会や文化交流会などで各団体に渡しており、様々な場面で活用してもらうことで広く知る機会となればと考えている。</p> <p>ふるさとポケットでは、飛び入りで参加させていただいた。踊りはそれほど難しくもなく、その場ですぐに踊れるくらい簡単なことを初めて知った。改めて千歳音頭のことを知る良い機会となった。コロナ禍で大変苦労されたと思うが、今年は少し明るい兆しがあるので、今後はもう少し働きかけをしてもよいと感じた。今年は旭ヶ丘町内会では盆踊りをやる予定で、各町内会も盆踊りを行うのではないかと思うので、その辺への働きかけは有効になると思う。また、教育委員会にも働きかけをして、例えば運動会などで千歳音頭を取り入れるよう要望してもよいのではないかと。</p> <p>今後については、各方面への働きかけをしなくてはならないと、役員会で話しているところで、コロナ禍で動きたくても動けなかった部分もあったが、今年は教頭会、校長会などにも説明に上がりたいと考えている。また、町内会連合会や様々な団体にも協力をいただきながら進めていきたい。</p> <p>【事業名】こどものマチ「Jr.Chitose」</p> <p>&lt;質疑応答&gt;</p> <p>令和5年度はどのような活動、規模を考えているか。</p> <p>令和5年度は4年度と同程度の企業ブースを想定しているが、参加応募数が多かったことを踏まえ参加人数に関しては拡大したいと考えており、午前、午後の2部制でできればと考えている。</p> <p>アンケート結果について、体験回数にバラつきがあるようだが、要因についてどのように分析しているのか。</p> <p>テナント内でいくつかのブースを設営し順番に回ってもらうことを想定していたが、一人でブースに入ることができないお子様もいたので、次回開催のときには体験回数を増やせるよう検討していきたい。</p> <p>すごく良い取組だと思う。今後ずっと続けていくと考えたときに協働事業として実施していくなど</p>

検討はしているのか。

今回ひと・まちづくり助成事業を活用させていただき、3年間補助金を受けることができるが、その後のことを見越して、次回から参加料を徴収しようと考えている。今回は補助金を会場賃借料、ブースで使用する材料費、椅子やテーブルのレンタル費用などに充てているが、補助金がなくても継続して実施したいという思いから、次回開催の際には参加料を徴収し補助金がなくても持続可能な形を築いていきたいと考えている。

アンケート結果の中で、「楽しかった」という意見が多いが、子供たちは何に興味をもっているのか。空のマチ千歳ということもあり空港関係、航空自衛隊は人気があった。また、お花屋さんも人気があった。当日が父の日だったこともあり、職業体験でもらった通貨を持ってお花屋さんに行き、お花を買ってお父さんにプレゼントしたという子供もいたので、職業体験だけではなくお金の使い方も考えることができたので良かったのではないかと思います。

団体の狙い、この活動をすることで子供たちに何を植え付けたいのかが報告書の中ではわからなかったが、子供たちをみんなで育てていくという企画なので、今後も頑張っていたきたい。

## (2) 学生向けの支援制度について

早速具体的に検討していただき有り難い。

年間、どのくらいの申請を受け付ける予定か。

予算をどのくらい確保できるかにもよるが、現時点では10事業くらいを想定している。

年間、1団体1事業とのことだが、年度が変われば同じ事業でも何度も申請できると考えてよいか。仰るとおり1団体1事業だが、学生団体の場合、毎年生徒が入れ替わるので、同じ事業であっても年度が変われば申請できるようにしたいと考えている。

補助金額の10万円は、中学生、高校生、大学生すべて同じ額か。

同額で考えている。

少し規模の大きい講演会を実施すると、会場費だけで10万円かかってしまうのではないかと。煩雑になるかもしれないが、2種類にして、20万円コースと10万円コースを作ってもよいかかもしれない。最初は学校祭も受け入れようかと考えていたが、そこまで広げると何でもありになってしまうので、このような設計になった。

学校祭の中の部活の発表というのはどうか。

学校祭の場合、クラス単位でいろいろ行うので、そこまで広げてしまうといくら予算があっても足りなくなってしまうのではないかと。

予算はすでにあるのか。

これから財政課と協議する予定である。

千歳の農業をやっている方の多さ、畑の広さは石狩管内でも上位であるが、収穫した野菜のほとんどは本州に行ってしまう現状がある。例えば高校生の事業で、千歳のマルシェ、物産を使った催し物、何かを作るなどを手助けできないか。

農業に関連した事業では、今年度協働事業で、千歳市農業プロモーションを実施しており、チューブで農業のPRをしているところである。同じように学生が農業のPR事業などを企画した場合、千歳市のPR事業に該当するので、今の制度設計では補助対象となるものとする。

今、千歳バーガーはどうなっているのか。

盛り上がっているとは言いにくい状況である。農業分野では6次産業化もやってはいるが恵庭に負けている状況で、恵庭はかぼちゃが特産だが、千歳はそこまでの特産品はなく、どのように進めていこうかと考えているところである。

千歳であれば、卵やチップなどがあるので、それらを活用して毎年コンテストみたいなことを開催したり、もりもとさんなどの企業と連携して何か商品開発したりするのもよいのではないかと。

千歳高校の生徒がもりもとさんとコラボして商品開発などを行っている。

最近であれば、岩塚製菓さんとコラボしてお菓子を作っている。

ある程度の事業は申請可能ということで内容としてはよいのではないか。  
細かい部分はもう少し検討し制度を作り上げていきたい。

( 3 ) その他  
次回会議は未定